

- セカンドオピニオン外来を開設しました
- 新副病院長のご紹介
- 病院再開発の進捗状況
- 骨と栄養を考える
- ペインクリニック科を開設しました
- リンパ浮腫外来を開設しました

【セカンドオピニオン外来を開設しました】



総合診療部 教授 三ツ浪健一

当院以外の医療機関で診療を受けておられる方を対象に、「他の医師の意見も聞き納得して治療を受けたい。」というご要望に応え、現在の主治医から与えられた診断・治療の資料から、今後の治療に関する意見を提供し、参考にしていただくために、「セカンドオピニオン外来」を開設しました。

◎例えばこんなとき、セカンドオピニオンを活用ください。

- ◆外科的治療法と内科的治療法で迷われているとき
- ◆現在の治療法に不安を感じる時
- ◆大きな外科的治療を受けるように勧められているとき



〈医療訴訟〉



〈医療費〉

◎相談内容としてお受けできない事項

- ◆過去の医療に関する事項で主治医等に対する不満、転医希望等
- ◆医療訴訟の問題等、直接の治療以外に関するもの
- ◆医療費の内容、医療給付に関わること

セカンドオピニオンの対象者

- 本人
- 本人の同意書をお持ちのご家族の方
※対象者本人が未成年の場合は、続柄が確認できる書類(健康保険証等)が併せて必要となります。

相談時間及び料金

- 自由診療です。(健康保険の適用とはなりませんのでご注意ください。)
- 相談時間は1回1時間以内で、料金は31,500円です。

相談担当医

当該疾患の専門知識を有する医師が相談をお受けします。ただし、対応できる専門医が本院に不在の場合、お受けできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

申し込み方法

完全予約制となっております。地域医療連携室セカンドオピニオン外来担当までご連絡ください。相談内容をお伺いし、手続き等について説明のうえ、関係書類をお送りいたします。

TEL 077-548-2515 FAX 077-548-2792

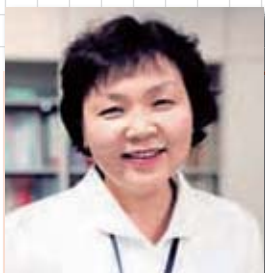
その他

- セカンドオピニオンは「診察」ではありませんので、検査や治療行為(薬剤処方、処置)は行いません。
- 相談内容によってセカンドオピニオン外来よりも一般外来の受診をお勧めする場合があります。
- お問い合わせ、ご予約には料金はかかりません。

ホームページ上でも詳しいご案内をしておりますので、ご覧ください。

滋賀医科大学医学部附属病院HP →「診療案内」→「セカンドオピニオン外来」

新副病院長のご紹介



患者サービス担当 看護部長 藤野みつ子

平成19年4月1日付けで看護部長を拝命し、患者サービス担当の副病院長に就任いたしました。

本年度は、9月に新D病棟完成とそれに伴う病棟の移転、再編成という当院看護部始まって以来の大事業を迎えます。患者さまの安全とスムーズな移転、移転後の安定した病院の運営を目指します。全ての領域と関連し、接点がある看護部としましては、悩みは尽きませんが、引き続き患者サービス全般の向上にも積極的に取り組んで参ります。

今後ともよろしく願いいたします。



病院再開発の進捗状況

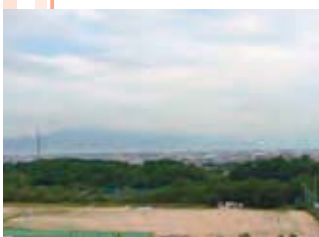
病院再開発推進室 専門職員 國友 陵一

防音シートと足場が取り外され、新(D)病棟の美しい外観が姿を見せました。8月末には竣工を迎え、9月22日から9月24日の3日間で病棟移転を実施することも決定しました。現在内装工事が建物内で急ピッチに進んでいます。

今回は3月末に公開しました病室モデルルームを皆様にご紹介いたします。**患者さまの「心と体を癒す」**をコンセプトに色あいの検討を重ね、病室においては**「やさしい陽だまり」**をイメージして壁、床、天井の色彩計画や調度品の調達を行いました。優しい雰囲気が出ている病室となっています。



外観が現れた新病棟



屋上からの眺め

病棟移転時(9月22日~24日)は、特に入院患者さま、救急患者さま、ご家族、地域医療機関、救急隊等各方面の方々にも大変なご不便をかけることとなりますが、病院再生のため、何卒特段のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

病院再開発事業に関し、ご意見・ご提案等ありましたら、病院再開発推進室までお申し出ください。(077-548-2954直通)

※院内のご意見箱もご利用ください。



病室モデルルーム



病室モデルルーム(個室)



工が進む新病棟内(ディールーム)



工が進む新病棟内(廊下)



病院名のサイン



新病棟外観(北側)

骨と栄養を考える -コツコツ摂ろう、カルシウム-



リハビリテーション部 准教授 今井 晋二
 栄養治療部 副部長 岩川 裕美

平成19年6月2日(土)に、市民の健康と栄養を考える会“骨と栄養を考える”と題した公開講座を開催しました。この講座の内容を簡単にご紹介します。

骨粗鬆症は、骨塩量と骨質で評価します。若年者において最大骨量を増加させるためには、ジャンプするような衝撃運動と、十分なカルシウム摂取が必要です。また、高齢者においては、骨量の減少を抑えるために、太極拳やウォーキングなどの有酸素運動などが有効です。

骨量を保つために、カルシウムは最低でも600mg以上、できれば800mgは摂取しましょう。主に乳製品から、その他、大豆製品・緑黄色野菜からの摂取も重要です。また、カルシウムの吸収を促進するビタミンDが魚類・キノコ類に含まれています。1日1回は魚料理を心がけてください。

骨粗鬆症は、高齢者（特に女性）のQOL（生活の質）を著しく損ねる病気です。骨折してから治療するのではなく、栄養を含めた予防的観点が重要です。高齢期を有意義に過ごすためには、骨の健康と栄養は欠かせません。

カルシウム豊富な食事メニュー

合計カルシウム摂取量 885mg / 日

牛乳・チーズ・ヨーグルト・ブロッコリーサラダ



朝

Ca 510mg

エビ豆 菜の花のお浸し



昼

Ca 225mg

豆腐ハンバーグ



夕

Ca 150mg

公開講座「市民の健康と栄養を考える会」は、年2回テーマを変えて開催しています。是非ご参加ください。(問) 栄養治療部 077-548-2518

カルシウム自己チェック表

〈普段の食事でどのくらい食べていますか?〉

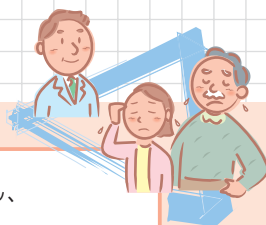
チェック	0点	0.5点	1点	2点	4点
1 牛乳	ほとんど飲まない	月1~2回	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日
2 ヨーグルト	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	ほとんど毎日2個
3 チーズなどの乳製品やスキムミルク	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	2種類以上毎日
4 大豆、納豆などの豆類	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	2種類以上毎日
5 豆腐、がんも、厚揚げなどの大豆製品	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	2種類以上毎日
6 ほうれん草、小松菜、チンゲン菜などの青菜	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	2種類以上毎日
7 海藻類	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	
8 シシャモ、丸干しいわしなど骨ごと食べられる魚	ほとんど食べない	月1~2回	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日
9 しらす干し、干し海老などの小魚類	ほとんど食べない	週1~2回	週3~4回	ほとんど毎日	2種類以上毎日
10 1日に3食を食べますか?	1日1~2食しか食べない(1点)、欠食することが多い(2点)、1日3食きちんと食べる(3点)				

判定 〈点数を合計してください。あなたのカルシウム度をチェック!〉

20点以上	16~19点	11~15点	8~10点	0~7点
↓	↓	↓	↓	↓
良い	少し足りない	足りない	かなり足りない	まったく足りない
1日に必要な800mg以上とれています。このままバランスのとれた食事を続けましょう。	1日に必要な800mgに少し足りません。20点になるよう、もう少しカルシウムをとりましょう。	1日に600mgしかとれていません。このままでは骨がもろくなっていきます。あと5~10点増やして20点になるよう、毎日の食事を工夫しましょう。	必要な量の半分以下しかとれていません。カルシウムの多い食品を今の2倍とるようにしましょう。	カルシウムがほとんどとれていません。このままでは骨が折れやすくなってとても危険です。食事をきちんと見直しましょう。



ペインクリニック科を開設しました



麻酔学講座 教授 野坂 修一



平成19年6月1日、麻酔科より疼痛対策部門を機能的に分離し、ペインクリニック科を開設しました。ペインクリニック科では、患者さまの疼痛（痛みや苦痛）を和らげるための治療を行います。

これまでは、麻酔科ペインクリニックセンターにて、麻酔科医が疼痛に対する外来診療などを行っていましたが、より専門的に対応するために診療科として独立させることになりました。ペインクリニック科の開設は国公立大学の病院では初めての試みです。

専門的に対応できるスタッフが常時複数外来にて診察しますので、より多くの患者さまに対応することができ、滋賀県内のみならず、近隣の府県への対応も可能となります。

運営は従来どおり、麻酔科・ペインクリニック科の医師が互いに協調協同して行ってまいります。

今後は、慢性的な疼痛に悩んでおられる患者さまばかりではなく、一般の疼痛患者さまにも門戸を開くとともに、疼痛をできるだけ軽減する幅広い治療を目指し進んでいく予定です。

<対象となる主な疾患>

さまざまな難治性の持続性疼痛

- ・椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患
- ・帯状疱疹などの神経因性疼痛
- ・偏頭痛などの慢性頭痛
- ・動脈硬化症などの末梢血流障害
- ・がんによる痛み

ペインクリニック科 (問) 077-548-2582

診 察 日	月・水～金 ※完全予約制
診 療 内 容	様々な難治性の持続性疼痛に対して、神経ブロック療法や薬物療法を行います。

リンパ浮腫外来を開設しました



外来担当看護師 作田 裕美・今堀智恵子・岩田 聖子

平成19年5月に、滋賀医科大学看護学科と附属病院看護部とが連携して「リンパ浮腫外来」を開設しました。

リンパ浮腫は、脚や腕が太く腫れ、「日常生活に不便を感じる」「見た目が気になる」「重だるい」など、様々な悩みや不安を抱えます。リンパ浮腫を改善させるには、【複合的理学療法】が有効であり、①スキンケア、②リンパマッサージ、③圧迫療法、④圧迫下での運動の4つの方法があります。外来では、この4つの正しい方法を習得し、リンパ浮腫とうまく付き合っていく様に支援させていただきます。

リンパ浮腫へのケアは保険外診療となるため、全て自費となります(20分ごとに2,625円)。外来時間は約60～90分かかります。リンパ浮腫外来を受診してみようと思われる方は、まずは、「乳腺一般外科(来見医師)・女性診療科(中川医師)・整形外科(今井医師)」のいずれかを受診していただき、リンパ浮腫外来受診の適応であるかどうかを診断いたします。適応となった場合には、リンパ浮腫外来を受診していただきます。一緒にリンパ浮腫の改善を目指しましょう!

リンパ浮腫外来

開 設 日	毎週火曜日 ※完全予約制
受 診 方 法	乳腺一般外科(来見医師 木・金)・女性診療科(中川医師 月・木)・整形外科(今井医師 火・水)を受診いただき、ご相談ください。
費 用	保険外診療(20分ごとに2,625円)

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します

滋賀医大病院ニュース第15号

編集・発行: 滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。